



ALLIANCEBERNSTEIN®

## 交付運用報告書

## アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）

追加型投信／内外／株式

第21期（決算日2022年7月20日）

作成対象期間（2021年8月3日～2022年7月20日）

| 第21期末（2022年7月20日） |          |
|-------------------|----------|
| 基準価額              | 28,952円  |
| 純資産総額             | 7,728百万円 |
| 第21期              |          |
| 騰落率               | △ 2.3%   |
| 分配金（税込み）合計        | 0円       |

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）」は、このたび第21期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。当期についても、これに沿った運用を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 **お客様窓口**電話番号 **03-5962-9687**（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

○当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、アライアンス・バーンスタイン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

<「運用報告書（全体版）」の閲覧・ダウンロード方法>

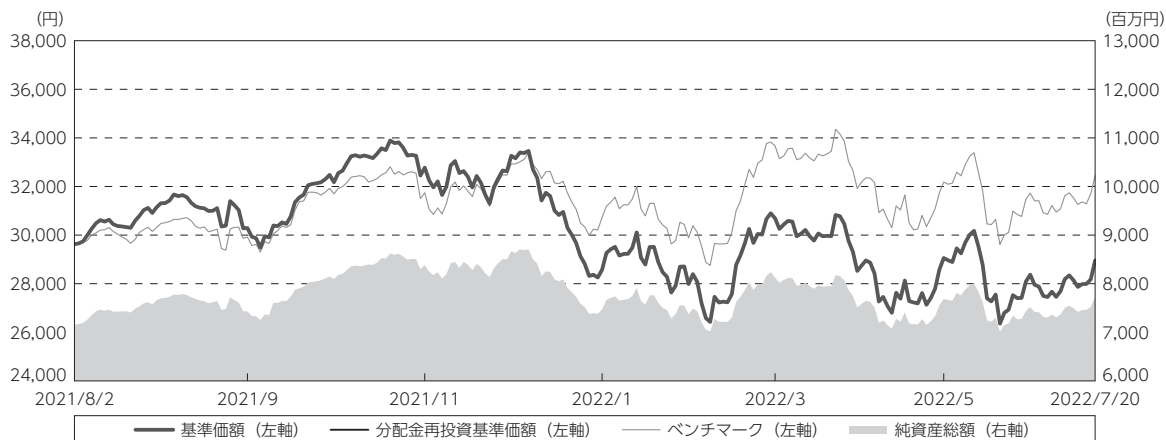
上記ホームページアドレスにアクセス ➡ 「基準価額一覧（国内投資信託）」を選択 ➡ 「株式型」の表内の当ファンド名を選択 ➡ 「運用報告書（全体版）」のリンクを選択

## 運用経過

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金向け）（以下「当ファンド」といことがあります。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2021年8月3日～2022年7月20日）



期 首：29,624円

期 末：28,952円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 2.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2021年8月2日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。詳細はP4をご参照ください。

### ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比－2.3%<sup>\*</sup>と、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）の同+9.5%を下回るパフォーマンスとなりました。

<sup>\*</sup>基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因：

- ・資本財・サービス関連や公益事業関連などの保有銘柄の価格上昇
- ・円安米ドル高となったこと

下落要因：

- ・情報技術関連や金融関連などの保有銘柄の価格下落

1 万口当たりの費用明細
 (2021年8月3日～2022年7月20日)

| 項 目                   | 当 期   |         | 項 目 の 概 要                                          |
|-----------------------|-------|---------|----------------------------------------------------|
|                       | 金 額   | 比 率     |                                                    |
|                       | 円     | %       |                                                    |
| (a) 信 託 報 酬           | 499   | 1.644   | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率                           |
| （ 投 信 会 社 ）           | (242) | (0.796) | 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価                       |
| （ 販 売 会 社 ）           | (242) | (0.796) | 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価  |
| （ 受 託 会 社 ）           | ( 16) | (0.053) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価                            |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料     | 10    | 0.032   | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数                  |
| （ 株 式 ）               | ( 10) | (0.032) | 売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料                 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税     | 8     | 0.027   | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数                  |
| （ 株 式 ）               | ( 8)  | (0.027) | 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金                    |
| (d) そ の 他 費 用         | 39    | 0.129   | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数                      |
| （ 保 管 費 用 ）           | ( 4)  | (0.013) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ）           | ( 1)  | (0.003) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用                        |
| （ そ の 他 ）             | ( 34) | (0.113) | その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等                    |
| 合 計                   | 556   | 1.832   |                                                    |
| 期中の平均基準価額は、30,361円です。 |       |         |                                                    |

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

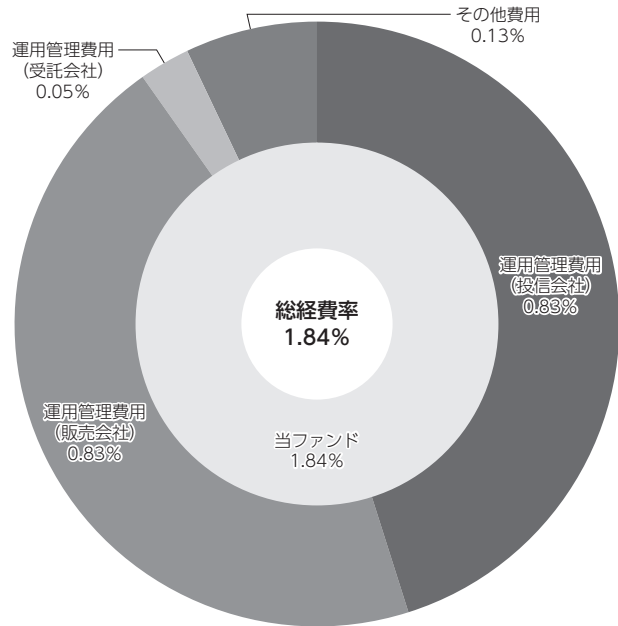
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

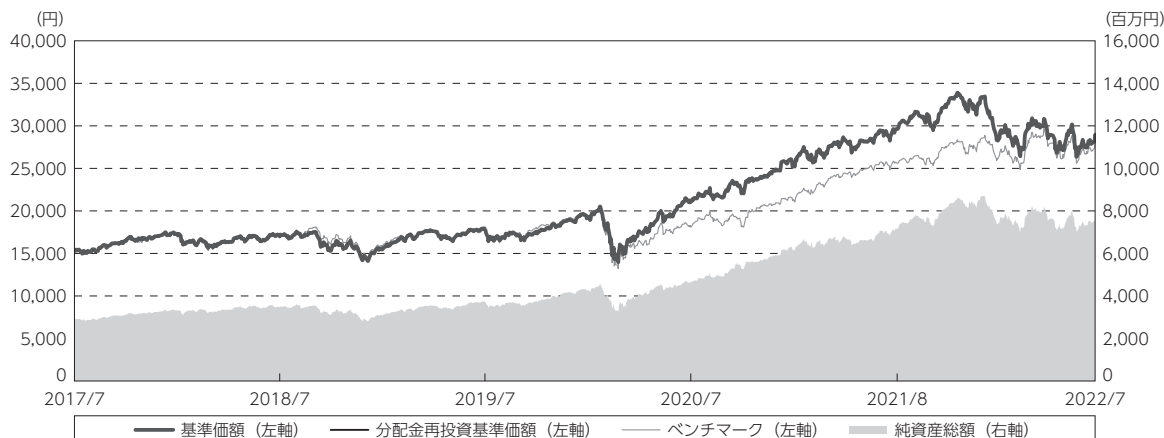
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
(注) 各比率は、年率換算した値です。  
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。  
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2017年7月31日～2022年7月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2017年7月31日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

|                   | 2017年7月31日<br>決算日 | 2018年7月31日<br>決算日 | 2019年7月31日<br>決算日 | 2020年7月31日<br>決算日 | 2021年8月2日<br>決算日 | 2022年7月20日<br>決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 15,342            | 16,992            | 17,794            | 21,066            | 29,624           | 28,952            |
| 期間分配金合計(税込み) (円)  | —                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                | 0                 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | 10.8              | 4.7               | 18.4              | 40.6             | △ 2.3             |
| ベンチマーク騰落率 (%)     | —                 | 12.3              | 2.4               | 2.5               | 41.7             | 9.5               |
| 純資産総額 (百万円)       | 2,905             | 3,466             | 3,720             | 4,639             | 7,155            | 7,728             |

- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。

### ●ベンチマークに関して

#### ○MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）

MSCIワールド・インデックスは、世界の先進国の株式市場のパフォーマンスを測る指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）は、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、米ドルベース）をもとに、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円換算したものです。

当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。

## 投資環境

（2021年8月3日～2022年7月20日）

### 【株式市場】

当期の世界の株式市場は、前期末比で下落しました。

期初は上昇してスタートしたものの、2021年9月中旬には、中国企業のデフォルト懸念や欧米金融当局による金融緩和縮小への警戒感から下落しました。10月には、欧米の好調な企業決算や景気回復期待の高まりなどを背景に反発したものの、その後は新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大懸念や米国の早期利上げ観測などから上値の重い展開となりました。2022年に入ると、欧米の金融引締め観測、ロシアのウクライナへの軍事侵攻、ロシアへの経済制裁発動などを背景に下落しました。その後3月後半には、米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果が想定内となったほか、ウクライナとロシアの停戦交渉の進展期待などから上昇しました。4月以降は、欧米での金融引締め加速への警戒感やロシアのウクライナ侵攻の長期化、一部の軟調な企業決算などから下落しました。5月下旬にやや反発する場面があったものの、6月に入ると、インフレ抑制を目的とした欧米金融当局による積極的な利上げ観測を受けて、景気後退懸念が高まったことから再び下落しました。

### 【為替市場】

前期末と比べて円安米ドル高となりました。

期初から2022年3月上旬にかけては、緩やかな円安米ドル高で推移しましたが、その後は期末にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化で米ドルが買われたことに加え、米連邦準備理事会(FRB)がタカ派姿勢を強める一方、日本銀行が金融緩和継続の姿勢を示したことによる日米の金利差の拡大を背景に、円安米ドル高が加速しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2021年8月3日～2022年7月20日）

### <当ファンド>

当ファンドは、アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド(以下「マザーファンド」ということがあります。)受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、日本を含む世界各国の株式に分散投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは、引き続きほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

## <マザーファンド>

主として日本を含む世界各国の株式に分散投資し、成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

運用にあたっては、グラスルーツ（草の根）リサーチに基づき、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される企業に対する投資を継続して行いました。

その結果、セクター配分においては、金融セクターや資本財・サービス・セクターなどの組入比率が上昇しました。一方、一般消費財・サービス・セクターやヘルスケア・セクターなどの組入比率が低下しました。国別配分においては、アメリカやドイツなどの組入比率が上昇しました。一方、オランダやインドなどの組入比率が低下しました。

### <マザーファンドのセクター別組入比率>

前期末（2021年8月2日現在）

| セクター名      | 比率    |
|------------|-------|
| 情報技術       | 28.5% |
| 資本財・サービス   | 19.7% |
| ヘルスケア      | 19.3% |
| 金融         | 13.1% |
| 一般消費財・サービス | 6.9%  |
| その他        | 7.9%  |
| 現金等        | 4.5%  |



当期末（2022年7月20日現在）

| セクター名      | 比率    |
|------------|-------|
| 情報技術       | 28.0% |
| 資本財・サービス   | 20.5% |
| ヘルスケア      | 18.5% |
| 金融         | 16.2% |
| 一般消費財・サービス | 4.8%  |
| その他        | 6.5%  |
| 現金等        | 5.4%  |

### <マザーファンドの国別組入比率>

前期末（2021年8月2日現在）

| 国名    | 比率    |
|-------|-------|
| アメリカ  | 58.2% |
| オランダ  | 7.2%  |
| デンマーク | 4.0%  |
| インド   | 4.0%  |
| スイス   | 3.7%  |
| その他   | 18.5% |
| 現金等   | 4.5%  |



当期末（2022年7月20日現在）

| 国名    | 比率    |
|-------|-------|
| アメリカ  | 59.5% |
| オランダ  | 6.1%  |
| ドイツ   | 4.1%  |
| デンマーク | 3.6%  |
| スイス   | 3.5%  |
| その他   | 17.8% |
| 現金等   | 5.4%  |

（注）セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。  
国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

個別銘柄では、農機具メーカーのディアーや、医療テクノロジー会社のベクトン・ディッキンソンなどを新たに組み入れたほか、風力発電機メーカーのベスタス・ウィンド・システムズなどを買い増しました。一方、臨床検査や医薬品開発支援サービスを提供するラボラトリー・コーポレーション・オブ・アメリカや、無線機器およびシステム・ソリューションを提供する通信事業会社のモトローラ・ソリューションズなどを全て売却したほか、補強製品や複合素材などの製造・販売を行うヘクセルなどを一部売却しました。

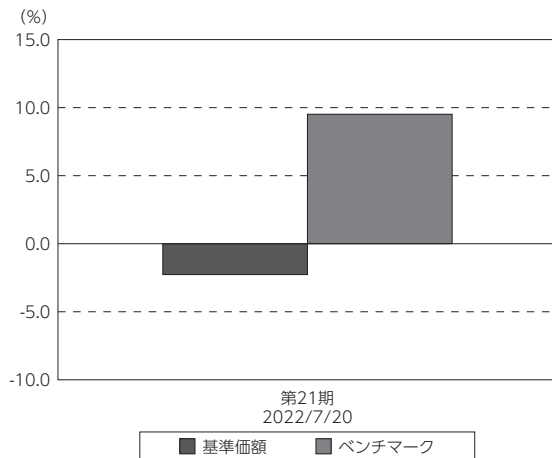
株式の組入比率は、期を通じて高い水準を維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年8月3日～2022年7月20日）

ベンチマークとの比較では、ヘルスケア・セクターや金融セクターにおける銘柄選択や、エネルギー・セクターや生活必需品セクターを低めに保有したことが主なマイナス要因となりました。一方、コミュニケーション・サービス・セクターを低めに保有したことなどは主なプラス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（配当金込み、円ベース）です。詳細はP 4をご参照ください。



分配金

(2021年8月3日～2022年7月20日)

当期の収益分配については、長期的な信託財産の成長を目指す観点から、見送ることとしました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

| 項 目       | 第21期                     |
|-----------|--------------------------|
|           | 2021年8月3日～<br>2022年7月20日 |
| 当期分配金     | －                        |
| (対基準価額比率) | －%                       |
| 当期の収益     | －                        |
| 当期の収益以外   | －                        |
| 翌期繰越分配対象額 | 23,766                   |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注) 上記表は、経費控除後の数値です。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

経済成長が鈍化する中、地政学的またはマクロ経済的な要因に左右されない企業、そして健全なバランスシートを有することで困難な局面を乗り切ることのできる質の高い企業に注目しています。

強固なバランスシートを有する企業は、景気減速時でも研究開発など将来のイノベーションに向けた投資を行うことができます。また、マザーファンドが注目する「気候」、「健康」、「エンパワーメント」の投資テーマにおける問題の解決は世界中で切望されており、関連する企業は、継続的な需要の高まりを受けて長期にわたり力強い成長機会を有するとみています。「気候」については、多くの国々が炭素排出量ネットゼロを目指しており、脱炭素化に向けた世界の投資額は大きく拡大することが見込まれています。クリーンエネルギー、持続可能な輸送、資源効率化に関連する企業は、今後数十年にわたって成長することが予想されます。ヘルスケアへのアクセス拡大および食料や安全な水の確保といった「健康」に関連するテーマは、長期的な需要が見込まれる重要な成長分野と言えます。世界人口の増加が予想される中、住宅、教育、輸送、雇用の分野や経済維持の面で「エンパワーメント」の問題解決は不可欠です。

引き続き、「気候」、「健康」、「エンパワーメント」の投資テーマに基づき、魅力的と判断する銘柄に投資することで、信託財産の長期的な成長を目指します。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

## お知らせ

2021年8月3日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

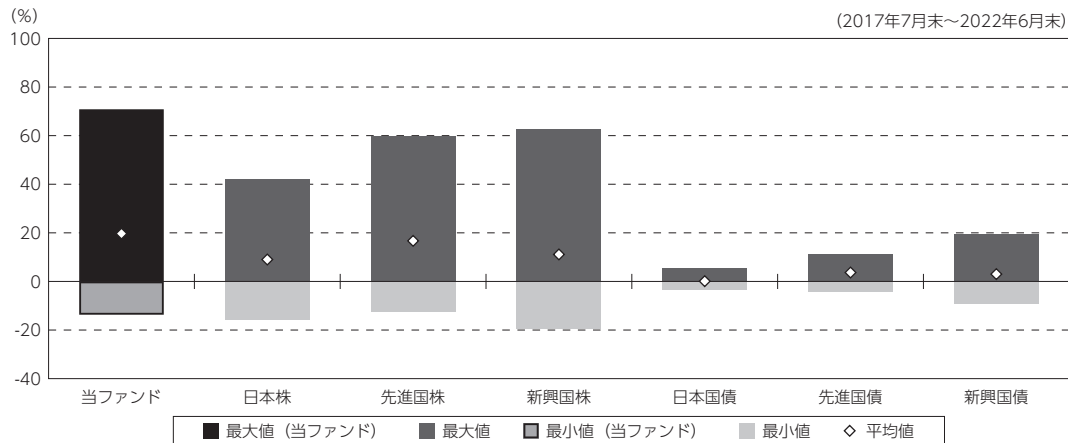
- ①信託約款第37条第1項に規定する信託の計算期間について、「毎年8月1日から翌年7月31日まで」とあるのを「毎年7月21日から翌年7月20日まで」に変更しました。（変更日：2021年11月2日）
- ②信託約款第40条第1項に規定する信託報酬の総額について、「年10,000分の168の率を乗じて得た金額」とあるのを「年10,000分の155の率を乗じて得た金額」に変更しました。（変更日：2021年11月2日）

## 当ファンドの概要

|         |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                             |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／内外／株式                                                                                                                                                                                                                                |                                                             |
| 信 託 期 間 | 無期限。ただし、信託約款所定の事由が生じた時は、信託契約を解約し、信託を終了（償還）することがあります。                                                                                                                                                                                       |                                                             |
| 運 用 方 針 | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。                                                                                                                                                       |                                                             |
| 主要投資対象  | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金向け)                                                                                                                                                                                                  | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
|         | アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド                                                                                                                                                                                                | 世界各国の株式（日本株を含みます）を主要投資対象とします。                               |
| 運 用 方 法 | ①マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に分散投資します。<br>②成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。<br>③マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーに委託します。<br>④実質外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。<br>⑤ファミリーファンド方式で運用を行います。 |                                                             |
| 分 配 方 針 | (1) 決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。<br>①分配対象額は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。<br>②分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わない場合もあります。<br>(2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行います。                                 |                                                             |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

|     | 当ファンド  | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債  | 先進国債  | 新興国債  |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 最大値 | 70.8   | 42.1   | 59.8   | 62.7   | 5.4   | 11.4  | 19.3  |
| 最小値 | △ 13.7 | △ 16.0 | △ 12.4 | △ 19.4 | △ 3.5 | △ 4.5 | △ 9.4 |
| 平均値 | 19.7   | 9.0    | 16.7   | 11.1   | 0.1   | 3.7   | 3.0   |

(注) 上記グラフは、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて、2017年7月～2022年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。  
(注) 当ファンドの年間騰落率は分配金再投資基準価額に基づき計算した騰落率ですので、実際の基準価額に基づき計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

- 日本株…… TOPIX（東証株価指数、配当込み）
- 先進国株…… MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株…… MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債…… NOMURA – BPI 国債
- 先進国債…… FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債…… JPMorgan ギャバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

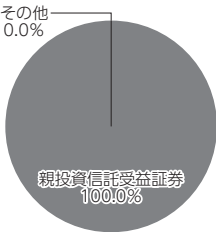
組入資産の内容 (2022年7月20日現在)

組入ファンド

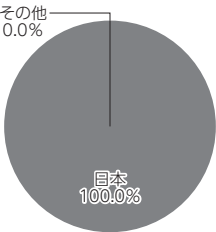
| 銘柄名                                        | 第21期末      |
|--------------------------------------------|------------|
| アライアンス・パースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド | %<br>100.0 |
| 組入銘柄数                                      | 1銘柄        |

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

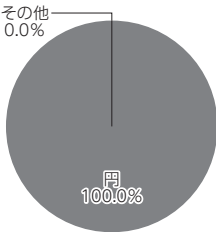
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

| 項目         | 第21期末          |
|------------|----------------|
|            | 2022年7月20日     |
| 純資産総額      | 7,728,285,581円 |
| 受益権総口数     | 2,669,324,408口 |
| 1万口当たり基準価額 | 28,952円        |

(注) 期中における追加設定元本額は731,781,436円、同一部解約元本額は477,783,005円です。

組入ファンドの概要

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

当マザーファンドの当計算期間の運用経過等については、「運用報告書（全体版）」をご覧ください。運用報告書（全体版）の入手方法は、表紙ページの一番下の段に記載しております。



【1万口当たりの費用明細】  
(2021年8月3日～2022年7月20日)

| 項 目                                     | 当 期                 |                             |
|-----------------------------------------|---------------------|-----------------------------|
|                                         | 金 額                 | 比 率                         |
|                                         | 円                   | %                           |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料<br>(株 式 )             | 15<br>(15)          | 0.031<br>(0.031)            |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税<br>(株 式 )             | 13<br>(13)          | 0.026<br>(0.026)            |
| (c) そ の 他 の 費 用<br>(保 管 費 )<br>(そ の 他 ) | 58<br>( 6 )<br>(52) | 0.117<br>(0.012)<br>(0.105) |
| 合 計                                     | 86                  | 0.174                       |

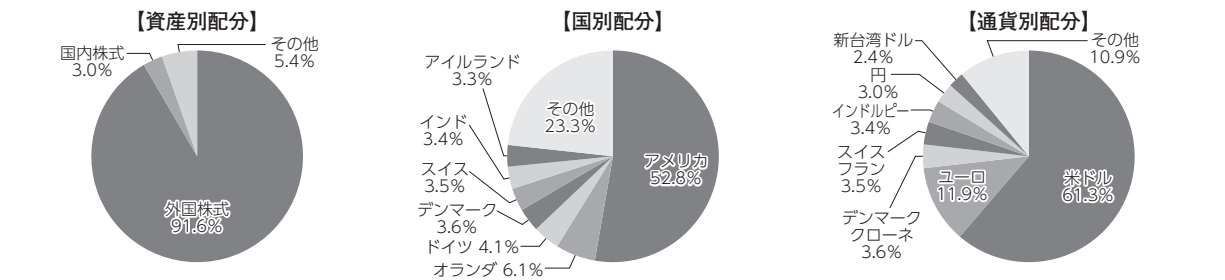
期中の平均基準価額は、49,055円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。  
(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。  
(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】  
(2022年7月20日現在)

|       | 銘 柄 名                   | 業 種 / 種 別 等            | 通 貨       | 国 ( 地 域 ) | 比 率 |
|-------|-------------------------|------------------------|-----------|-----------|-----|
|       |                         |                        |           |           | %   |
| 1     | WASTE MANAGEMENT INC    | 商業・専門サービス              | 米ドル       | アメリカ      | 2.8 |
| 2     | LUMENTUM HOLDINGS INC   | テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 米ドル       | アメリカ      | 2.7 |
| 3     | DANAHER CORP            | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 米ドル       | アメリカ      | 2.6 |
| 4     | VESTAS WIND SYSTEMS A/S | 資本財                    | デンマーククローネ | デンマーク     | 2.5 |
| 5     | SVB FINANCIAL GROUP     | 銀行                     | 米ドル       | アメリカ      | 2.4 |
| 6     | DEERE & CO              | 資本財                    | 米ドル       | アメリカ      | 2.4 |
| 7     | APPLE INC               | テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 米ドル       | アメリカ      | 2.4 |
| 8     | NEXTERA ENERGY INC      | 公益事業                   | 米ドル       | アメリカ      | 2.3 |
| 9     | FLEX LTD                | テクノロジー・ハードウェアおよび機器     | 米ドル       | シンガポール    | 2.3 |
| 10    | STERIS PLC              | ヘルスケア機器・サービス           | 米ドル       | アイルランド    | 2.3 |
| 組入銘柄数 |                         |                        | 57銘柄      |           |     |

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。  
(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。



(注) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○TOPIX（東証株価指数、配当込み）

TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社が算出し公表する、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。